

# 第70回大腸癌研究会

## 潰瘍性大腸炎の癌化サーベイランスの研究

委員長：帝京大学外科 渡邊聡明

日時：平成21年1月15日（木曜日）14：00-15：00

場所：都市センターホテル6F 608号室

### 1. 研究内容と進捗状況

これまで厚生労働省特定疾患「難治性炎症性腸管障害」に関する調査研究：癌サーベイランスプロジェクト研究と共同で進められてきた臨床研究のプロトコールが、2008年11月に最終的に確定されたことが報告された（添付資料1, 2）。

本研究は、潰瘍性大腸炎に対するサーベイランスを行う際に、10cm毎に4個ずつ生検組織を採取する step biopsy と有所見部のみから生検組織を採取する狙撃生検の有用性を比較検討する臨床試験であり、試験内容に関しては、2009年の1月にUMIIN（University hospital Medical Information Network）のホームページ上に公開されたことが報告された。

### 2. 倫理審査状況

本試験の実施のため、現在大腸癌研究会倫理委員会に審議を依頼中である旨報告された。

### 3. 今後の予定

大腸癌研究会の倫理審査で承認を得た後、本試験への参加希望施設と共同で臨床試験を進めていく方針となった。基本的には各施設4例の登録を依頼しているが、これより多くの症例登録が可能な場合は5例以上の登録を行っていく方針となった。